

# 道母連だより

## 新年を迎えて



北海道保健福祉部  
少子高齢化対策監

粟井 是臣

新年、あけましておめでとうございます。

社会福祉法人北海道母子寡婦福祉連合会の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、皆様におかれましては、日頃から母子福祉センターや母子家庭等就業・自立支援センターの運営、さらには、各地域における支援活動等を通じ、様々な場面で、ひとり親家庭の方々の福祉の向上、自立の促進に大きく寄与されていることに対し、心から敬意を表しますとともに、感謝申し上げます。

昨年は、平昌五輪での道産子選手の活躍など明るい話題があった一方、胆振東部地震をはじめとする未曾有の自然災害が相次ぎ、皆様におかれましては、たいへんなご労苦をされたことと存じます。被害に遭われた方々に心よりお見舞い申し上げます。

さて、近年の雇用情勢は改善傾向にあるとされるものの、道が昨年取りまとめた「ひとり親家庭生活実態調査」では、母子家庭の母は非正規雇用の割合が依然として高く、年収300万円未満の世帯が8割以上になっていること、父子家庭の父は困ったことや悩み

### 第90号

発行日/平成30(2019)年1月1日  
発行/社会福祉法人北海道母子寡婦福祉連合会  
〒060-0031  
札幌市中央区北1条東8丁目 北海道母子福祉センター内  
電話 (011) 261-0447  
●題字は山高しげり先生 ●印刷 樹アイワート

の相談相手がないとする割合が高いことなど、ひとり親家庭の多くが厳しい就業状況や生活実態に置かれていることが明らかになったところ です。

道としては、こうした実態を踏まえ、ひとり親家庭の方々を対象とした公的資格取得のための就労支援や母子家庭等就業・自立支援センター等によるきめ細やかな相談支援などを一層推進していく考えです。

本年も、ひとり親家庭の方々はもとより、全ての道民の皆様が安心して子育てや働くことができるよう取り組んでまいりますので、今後とも、ご支援、ご協力をいただきますようお願いいたします。皆様にとりまして、新しい年が希望に満ちた素晴らしいものとなりますよう、心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

### 年頭にあたって

理事長 畑 和子

新春のお慶びを申し上げます。

この一年が会員のみなさまにとりまして、ご健康で明るい日々でありますようお願い申し上げます。

昨年は、北海道胆振東部地震に見舞われ、停電、交通機関のマヒなど大変な状況の中を、各現場職員はいち早く駆け付け通常業務に務めました。又、日毎に報道されます胆振3町の被害状況に心を痛めておりますが、全国各地からの温かい激励にお礼申し上げます。

国ではひとり親家庭等日常生活支援事業の一環として子どもの生活学習支援事業を推進し、会場やスタッフ、食事の提供、子どもの居場所作りなど、自治体と相談して子ども達のために何をすべきか考えていきたいと思えます。全国大会では2020年から住民税非課税、収入250万円以下の世帯を対象に国立大学授業料54万円を免除、私立は70万円を上限に教育無償化の話もありました。

母も子も夢はかなうものと信じて頑張つて頂きたいと思えます。